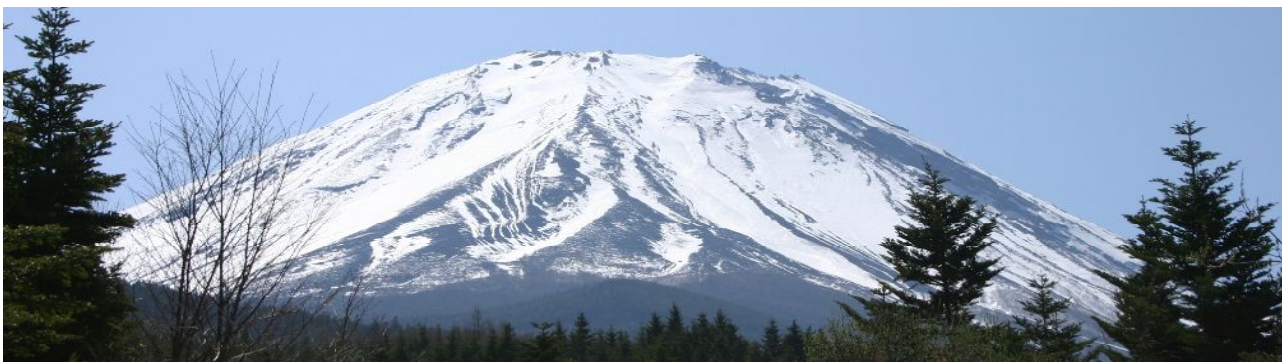


オルビス、富士山麓で5年目の植林活動を実施 ～5年間で社員・関係者延べ570名が約5,000本を植樹、自然の森を再生へ～

ポーラ・オルビスグループのオルビス株式会社(本社:東京都品川区、社長:高谷成夫)は、公益財団法人オイスカ(本部:東京都杉並区、理事長:中野利弘)が主催する「富士山の森づくり」プロジェクト参画の一環として、来る5月28日に富士山麓において社員による植林ボランティア活動を実施します。

今年が植林の最終年度となるこのプロジェクト参画では、5年間累計で、延べ570名を超えるポーラ・オルビスグループ社員・家族及び関係者の手により約5,000本の広葉樹を植栽し、他企業、他団体含めたプロジェクト全体で年間11.6t(2010年度、山梨県算定)のCO₂を吸収することになります。



植林地から望む富士山

「富士山の森づくり」プロジェクトとは、2007年4月、公益財団法人オイスカが山梨県や複数の企業・団体と協働してスタートさせた環境保全事業です。植林地の富士北麓域は、もともと木材の生産を目的に造成されたシラベ林(針葉樹)が広がっていましたが、2002年に病虫害による大規模な被害が発生し、ほとんどが枯れてしまいました。そこで2004年から山梨県によるシラベ林虫害対策事業(列状間伐(注1)を行い、針広混合樹林への天然更新(注2)を促す)が開始されましたが、長期間に渡って森林化が進まない可能性が高いことが判明しました。本プロジェクトは県の被害対策と連携し、列状間伐を行った箇所に広葉樹の植栽を行い、天然更新よりも確実にそして早く森林の再生ができるように取り組んでいるものです。

言わば「虫害で枯れた人工の森を、人の手で、今度は自然に近い森へと蘇らせる」という壮大な試みとなります。

オルビスは1987年の本格的な通販事業の開始当初より“地球に生かされている私たち”の考えを元に、外箱を極力使わない簡易包装、詰替え用商品の販売、エコ素材を使用したショップバック、カタログでのFSC認証紙使用、ソイインクの使用など、様々な環境保護活動に取り組んでいます。

また、通信販売という業態上たくさんの紙を使用することから、少しでも還元したいとの想いで、2002年より国内外で複数の植林活動を支援し、金銭面だけでなく社員もボランティアとして実際に植林、下草刈りなどに参加し、汗を流しています。オルビスは今後もお肌と身体だけでなく、地球にとってもブランドスローガンである「キレイナミライニ」を目指します。

なお、この「富士山の森づくり」の植林活動終了に伴い、オルビスは次年度から新たに山梨県内の「甲州市オルビスの森」で里山整備活動を開始することが決定しています。



付近に生息する鹿の食害を防ぐ為、植栽した苗木に生分解性ウッドガードを装着

注1) 斜面の上下に沿って筋上に間伐(間引き)する方法
注2) 植栽を行わず、自然に落下した種子から樹木を育成させること

【オルビスの植林活動について】

- 1) 山梨県甲府市「武田の杜」環境保全活動[2002年4月～2007年8月]
市民の憩いの場となっている「武田の杜」が虫害によりダメージを受け、整備事業の一環として5回の植林を実施。現在も夏に下草刈りなどのメンテナンスをボランティアで実施しており、四季折々の植物を楽しむ憩いの森となっています。
* 植林本数: 6,990本(約3ヘクタール)
* 「行政」「NGO」「企業」が三位一体となった環境保全活動のパイオニアとしての功績を称えられ、2006年に山梨県知事より感謝状をいただきました。
- 2) 「富士山の森づくり」プロジェクト[2007年5月～現在(植林活動は2011年5月まで)]
* 植林本数: 約5,000本(約5ヘクタール)
- 3) フィジー諸島共和国「子供の森計画」への支援及びマングローブの植林活動(2002年10月～現在)
「子供の森計画」とは、子どもたち自身が、学校の敷地や隣接地で苗木を育てることで「自然を愛する心」「緑を大切にする気持ち」を養いながら、地球の緑化を進めていこうとするプログラム。その他、コロゴ村沿岸でマングローブ植林も実施。
* 植林本数: 73,530本(58.2ヘクタール)

【「富士山の森づくり」プロジェクト概要】

実施場所 : 山梨県鳴沢村富士山地内県有林
(標高 1,600m、対象面積 約100ヘクタール、内植栽面積 50ヘクタール)
活動形態 : 山梨県、林業関係者、企業・団体等の協働
活動期間 : ボランティアによる植栽、下草刈りなどの活動→約10年間
専門家による保育、保全活動 → 長期的に実施

2011年度の実施概要

- * 日時 : 2011年5月28日(土) 10時30分～12時20分(予定)
- * 参加人数 : 66名(グループ会社参加人数含む)
- * 植林本数 : 1,000本(約1ヘクタール)
- * 植林樹種 : 富士山自生の広葉樹(サクラ、ハンノキ、イタヤカエデ、ブナ、ミズナラなど)

【公益財団法人オイスカ概要】

代表者名 : 理事長 中野利弘
本部所在地 : 東京都杉並区和泉3-6-12 TEL : 03-3322-5161
創立 : 1961年10月6日
主な活動 : 海外では農業を基本とした村づくりや人材育成、植林などの環境保全活動を実施。
また、国内においても学校林活動や森づくり活動を積極的に取り組んでいます。

【2011年は「国際森林年」】

今年が国連の定める「国際森林年」です。国連総会決議により、国際森林年では、現在・未来の世代のため、全てのタイプの森林の持続可能な森林経営、保全、持続可能な開発を強化することについて、あらゆるレベルでの認識を高めるよう努力すべきとされています。

また、国連は加盟国が国際森林年に関連した活動を促進することを奨励しており、我が国でも各地で様々な取組が行われることが期待されています。

東北大震災の影響による火力発電への切り替えにともなうCO₂排出量の増加が懸念される中、森林の重要性は今後益々高まることが予想され、オルビスは森林保全の面でも企業として出来る限りの協力をしてまいります。